

くされ浮世も屁のカッパ ババの悪知恵ど根性ご予約はお早めに!!

1月

21日(土) 18:00

22日(日) 14:00

28日(土) 18:00

29日(日) 14:00

※開場は開演の30分前



イラスト・カオル



《演出・脚本》

関本三芳

《出演》

カオル

岩本あちゃこ

高橋るり

安田喜貴

大久保琢弥

《特別出演》

伊藤創

伊藤純子

古川愛

会場：劇団お伽座

〒369-1224 埼玉県大里郡寄居町鉢形248-4

お問合せ：048-581-7449

料金 大人 2500円

中学生以下 1500円

(当日300円増)

再演にあたって

演出・脚本 関本三芳

この話は数年前、落語の『お神酒徳利』の主人公をお婆さんに書き換えて、落語芝居としてお伽座で上演したものです。お客様が大変喜んで下さり、再演を望む声も多く、今回上演の運びとなりました。

この度は横浜、東京を中心に全国各地、韓国などでも演劇活動を続けている、伊藤創、純子夫妻、はみだし紙芝居の古川愛さんの協力を得て、より一層楽しい作品に仕上げる事が出来ました。私が伊藤夫妻と出会ったのは、一九八〇年代中頃のことでした。その頃は色々な芝居が盛んに上演されていました。私達も、芝居屋のアルバイトの常套、大道具の仕込みや撤去作業で共に汗を流しておりました。その縁で、一九八九年のお伽座の舞台『夜叉ヶ池』（泉鏡花原作）に出演して頂きました。その後、しばらく連絡を取り合うこともなく交流も途絶えておりましたが、三十一年ぶりの再会を果たし、お互い良くまあ演劇活動を続けて来られたものよと旧交をあため合いました。

さてこの芝居はとっさの機転と占いで、どうにもならない状況を切り抜けていくお婆さんのお話でございます。どうにもならない事が起こると、とかく人間は占いに頼るものですが、今の時代はカードで占って「トランプ」をめくりはしたものの、カードの裏から何が出来るのか分らず、恐ろしくてもはや占うことすら出来ないようになってしまいました。いったい私達庶民の暮しはどうなるのでしょうか。かつて江戸の庶民は、苦難を笑う事で乗り越えてきました。それが落語という形で今に受け継がれてきたように思われます。ですから私達もそのことに習い西年の初春を落語芝居で笑いながら迎えて行く事にいたします。

皆様のお越しをお待ちしております。



役者のつぶやき

舞台に立つのは怖い事。被ってる猫の皮をすっかり剥がされました。

古川愛

何年たっても芝居ばかり阿保なら鉢形で楽しくやるしかないじゃん♪

伊藤純子

ようやく人間になれました！しかも・・・男役です！！

安田喜貴

稽古中に自分がなんの役なのかしばしば分からなくなります。これで無事に千秋楽を迎えられるのか、ひとつ占ってみる・・・のはやめておきます(汗) 岩本あちこ

はてさてちょっとがめつい主人の源兵衛とたよりの稲荷は大明神ガハハハと演じます♪

伊藤創

その場その場の思い付きで思い切った事をする、後でとんでもない目にあうという事を、人の三倍かかりようやく分かりました・・・

大久保琢弥

良かれと思ってやったことが周りに大迷惑をかけていた。なんてことありませんか？皆様もお気をつけ下さい。

高橋るり

とかく世間は世知辛い、厭なこと忘れて、良いことだけ覚えてりゃ、頭も軽く、身も軽く先の暮しもなるようになるよ云うものさ

カオル

会場 劇団お伽座



〒369-1224

埼玉県大里郡寄居町大字鉢形248-4

TEL : 048-581-7449

◇東武東上線「鉢形駅」徒歩5分

◇関越自動車道花園インター下車

国道140号線玉淀大橋を小川方面に左折

254号線沿いセブンイレブン横入る

劇団お伽座ホームページ <http://otogiza.web.fc2.com>